そんなに出したら
妊娠しちゃう
あまね紫狼
5
発情女子寮
ハーレム

そしてバスに
乗車したの
です……

……が

ふわ…

ん？

いつも以上にいい香り……

けどなんだ？みんな俺を見てる…？

…って…いつも通り睨まれてるだけだよな

ビー

皆さんモニタリングお疲れさまです

レポートは明日までに提出してくださいね

ではこれから観光で神社に向かいます

？

美の追求をする
私たちにとっては
美しいものを見ることは
とても重要なことです
優雅で優美な神社を
しっかり見学しましょう

ちら…

あぁどうしよう……
私が開発したジェルで
みんなが発情してる…
一体何を間違えて
しまったのかしら…？

…なんでみんな
押し黙ってるんだ？

ここからは
自由行動です

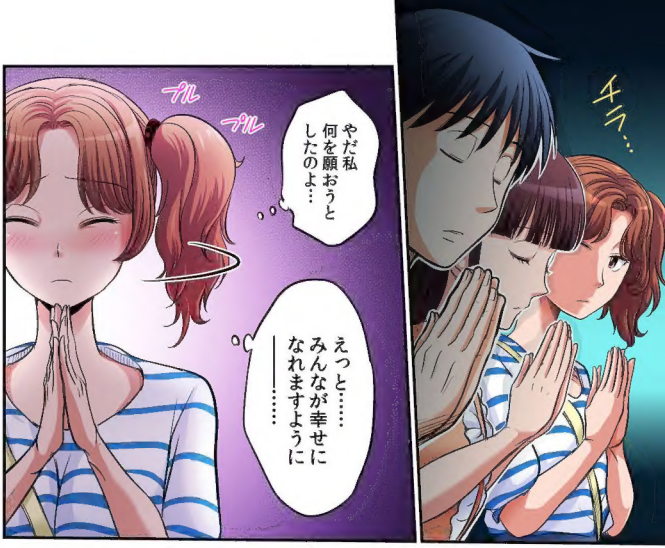
ただし
敷地内から
出ないこと

あ～
いい空気～～
深呼吸
気持ち
いい～！
さっきまで
すごく熱くて
どうしようかと
思ってた
暑かった…？
今も
ちょっと…
き…気に
しないで…！
高木は？
いや別に
なんだ…みんな
暑くてダウン
してたのか～～
そういや顔
赤かったもんな
でも
そんなに
暑かった
っけ？
ほっ…
キラ…
確かに
バスから出て
発情が少し
治まったわ
そしてどうやら
男性には効果が
ないのか…
薄いのか――…
でも――……

なんで女子が後をつけてくるのか気になる……
ぞろぞろ
ぞろぞろ
催淫効果はまだ続いてるみたいね……
高木くん見て見て～♥
あ～
スリスリ
ぎゅっ
キノコみたいな御神木～～
すっごおおい♥
チ●ポ？
チ●ポに見えるのは俺だけか!?
…こ…これが優雅で優美…？
何を学ぶんだ…？？
ハハハ。
ハハハ…
キュンキュンしちゃう…もしかしてパワースポット？
ほら！理紗ちゃんも

はい！
あんたのスマホ壊れてんでしょ
これで撮って！
じゃあいくよ――！
カシャ
カシャ
カシャ
カシャ

優雅で優美かはともかく…かなりエロいぞ♥
行くぞ高木！
グヘヘ…
ジェルのことが騒動になりませんように――…
凛ちゃんと付き合えますように～～
高木くんとお付き合いできますように…
パン パン
高木と付き合え――……


チラ…
やだ私
何を願おうと
したのよ…
プル
プル
えっと……
みんなが幸せに
なれますように
――……

ビリ…
凛ちゃん
何をお願い
した？
えっ…
あ…
その…
…えっと…
た…
高木くんこそ
何をお願い
したの？

バカねぇ
願い事
言ったら
叶わなく
なるよ！
えっ？
そうなの？
ホっ…
知らなかったぁ…
ごめん…俺
変なこと聞いて

ここの境内結構広いね
ちょっと休もう～
ねぇ高木くん
何？
私の開発したジェルどうだった…？
失敗の原因を突き止めないと――…
え!?
スパで起きたことを包み隠さず話してほしいの
みんなは遠慮して黙ってくれてるけどこのままじゃすまされない問題よ…
蘭ちゃんとのセックスがバレてる!!

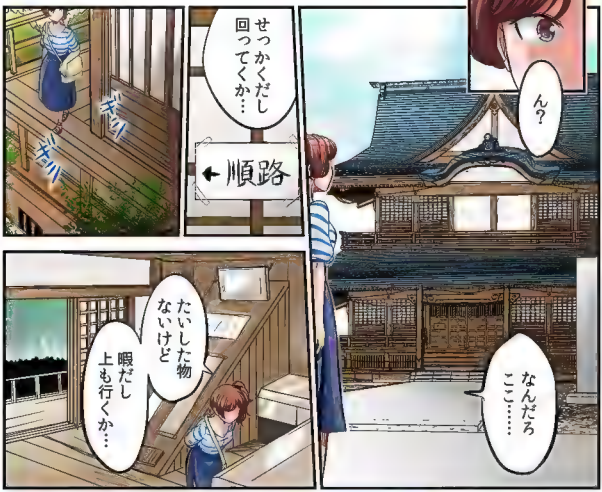
気がついてるでしょ？
後ろのクラスメイトを…
彼女たちもつまり
そういうことよ…
ひいいい
怒ってつけて
きてたのか～
もしや
抹殺命令も…
この事態を
解決するためにも
何があったか
私に教えて――
開発段階では
マスクを
してたから
気がつかなかったけど
この催淫効果は
吸引によるもの
だと思うの…
どうしよ…
どうしよ…
どうしよう…
あぁ…
凛ちゃん…

ちゅん
ちゅん
た～か～ぎ～く～ん

私たちと一緒に
きてくれない？
はぁ…
はぁ…
はぁ…
さつきの
キノコのとこに
行きましょう～
き…きた!!!
女子裁判!!!
こ…怖くて
声が出せない
……!!!
助けて
理紗ちゃん…
…理紗ちゃん

理紗ちゃ…
だから閉鎖空間では強く
今は野外だから
弱くなってるけど
人によってまちまち
みたいね…
ブッ
ブッ
ブッ

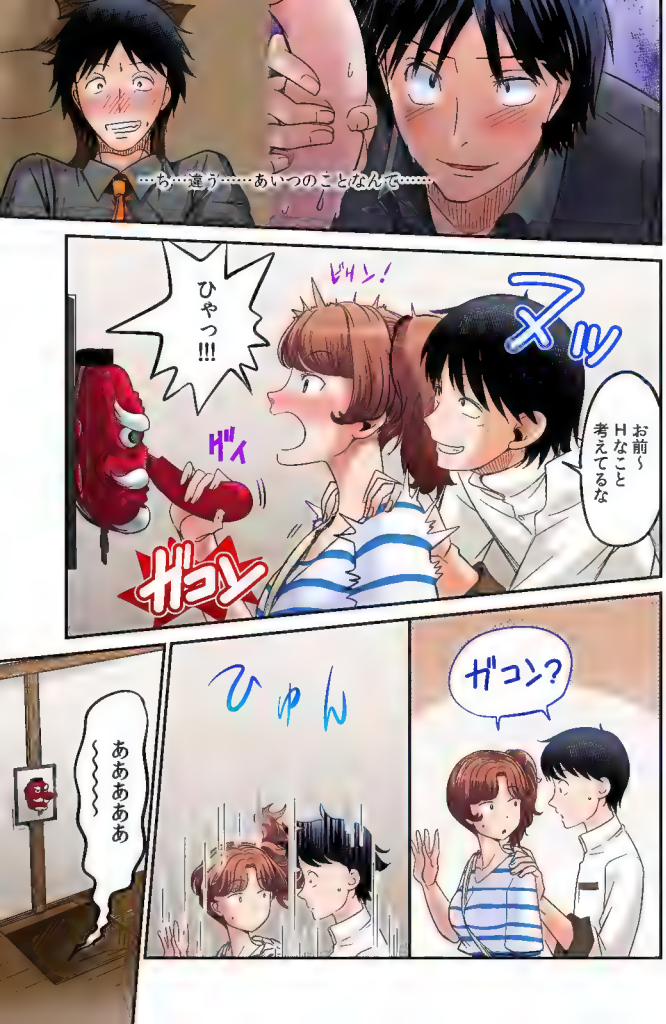
――でも
助けてくれてありがとう！
ズキ…
凛ちゃん～そっちに高木くん行ってない？
ううん
ブン ブン
気がついたらいなくなってて……
ジュースでも買いに行ったんじゃ…？
重要な話をしてたんだけどな…
こそ…
とぼ とぼ
助けてなんてない――……
……あそこで2人が願い事を告白したら結ばれてしまう……
だから咄嗟に邪魔をした……
最低だ…私――


ん？
なんだろ
ここ……
せっかくだし
回ってくか…
順路
ギリ
ギリ
たいした物
ないけど
暇だし
上も行くか…

何よ…
2階にまで
昇らせておいて
これだけ？
ぞぞーん
天狗の面――…

帰ろ……
…あれ…
何かに
似てる…
ビーン
ちょっと…
だけ…
そっ…
プル
プル
プル

きゅんん♥
…んっ
ん…
ムラ
ムラ
ムラ
ムラ
ムラ
ムラ
…やだ……私…
なんてHなことを想像して……


…ち…違う……あいつのことなんて……
お前～Hなこと考えてるな
ビクン！
ヒッ
ひゃっ!!!
ゲイ
ガコン
ガコン？
ひゅん
あああああ～～～

ドスン
うわぁぁぁぁぁぁぁぁぁぁぁ
ぼよよん
あっ！
キキキキ…
出口…っ
バタン
あ～…

おい明日香
生きてるか？
……なんで
あんたが
いるのよ……
女子に
拉致られて
逃げたら……
そっちこそ
凛ちゃんは？
知らない
わよ…
とりあえず
どいて…
あたってんのよ
…いや
それがさ…
かなり
狭いっぽい
…
ペタ
ペタ
ペタ
なぁ？
そっちは？
キャっ!!!
なんだよ
肩くらいで
ビクッ
ポン
肩…そ…
そうね…
あっ…！
スマホ!!!
SAOTOME
スル
おわっ!!?

ってケツか!!
えっ? 灯り!?
フフ〜ン丸見え♪
ウソやだ見ないでよ!!
お前こそ見せつけんなよ
もう見えてないでしょ!!
こいつ後ろが捲れてんの気がついてないな
もう少し遊んでやろ
は…早く助けを呼んでよ…
や〜だね
私のスマホよ!
圏外だしな
罰があたったんだ……
罰?
いいからあんたは脱出方法考えて……
…なんで…凛とこいつから せっかく離れたのに…

…あぁ…なのになんで…
…感じちゃってるの……
……でも…足が…腕が…
…痺れてると思うだけで…
ダメ…悟られないようにしないと…
おかしくなりそう――…
へぇ…
Tバックってエロぉ～
え…？
なぁお前濡れてね？
つーか垂れてるし
ケツの穴がくぱくぱしてんのもくるな……
ヤバってる～
ｹｲｲﾝ
見えて…っっ

あっ！
ガシッ
そういや
さっきも
天狗の鼻
しこってた
もんな～
離して…っ
…いや…
ダメ……
あぁん…
見られてると
思うと
感じてしまう…
嫌なのに
こんなに
濡れるんだ？
あ～あ…
スマホに
垂れちゃった

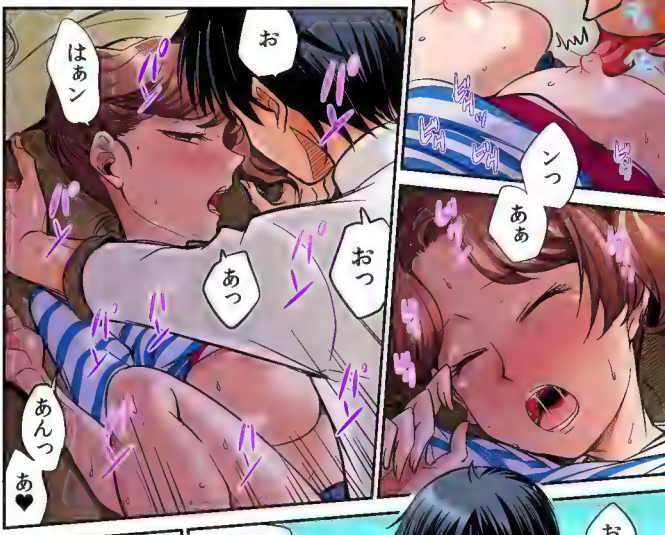
…何かすっげえエロい匂いしてるな
…や…めて…それ以上は……
…私の気持ちが止まれなくなる……
り……凛を…好きなくせに…
あっ…
グリ
グリ
…た…かぎ……
そうだけど…そうだけど
…さぁ……
止まらない
あ…んっ…

あ
あぁ♥
ちゅうううう
ビクビク
あんっ
あ♥
あ♥
うわ～
何ここ？
ここも
神社かな？
あっここ
からくり屋敷だ！
案内にあったよ
ほら
へぇ～
回って
みようか
ギシ
ギシ
ギシ
真上から
足音…
ここ…
床下だ…
今なら
助けを…
ギシ
……

どうする？2階まで上がる？
とりあえず1階見てから考えよ
んぐ…っ
んぐ♥
んんんん♥
すげぇ興奮してんな…
あ…んだだって……
そろそろ挿れるぞ……
…ん…

ぁあ
あ…ぅんっ
ぁ
あ♥
あ♥
はぁぁぁあ♥
や…
高…木ぃ…
――もう……止められないよ……

パン
パン
パン
パン
パン
パン
お
おっ
あぁっ
あン
おっ
んっ
っん
ちゅうううう
ああああ
あぁぁン…っ
あっあ…
あ……
あン
ん
んっ

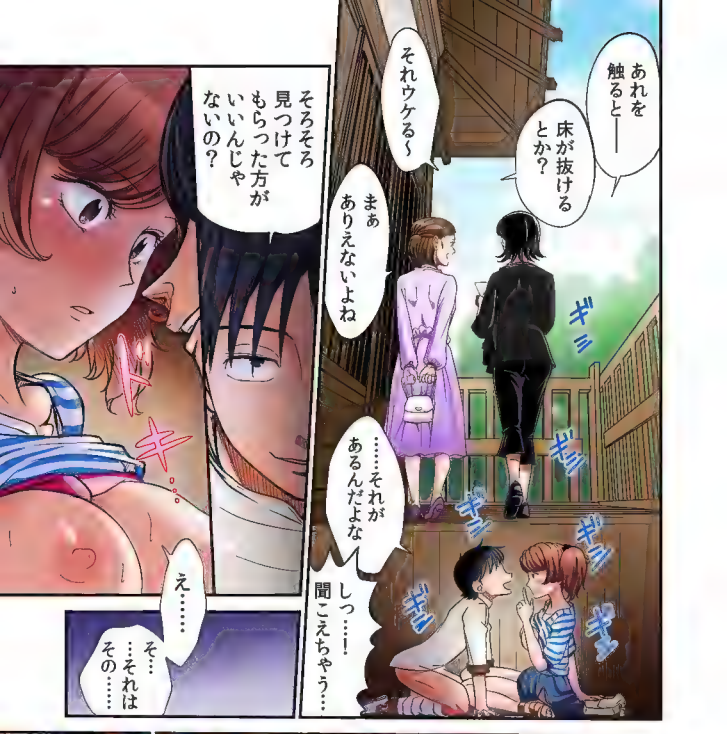

お
はぁン
おっ
あっ
あんっ
あ♥

ンっ
あぁ

お…
おっ
んんっ
ぬぷっ
ぬぷっ
…そういや
明日香とヤるのは
久しぶりだな…
くはぁ…
こいつの膣(ナカ)——
こんなによかった
っけ……？
うおぉお…
俺の弱い
とこばかり
ついてくる……
ぎゅぅ
ぎゅぅ

ヤバ…
さっき蘭ちゃんと
ヤったばかり
だってのに…
もうイきそう……
パン
パン
パン

き…気持ちいい……
でも…もっともっと
抱いていて
ほしかった……
んふん…
っ…んっ…
ビクン
ビクン
ビクン
あ……
なにが
からくり屋敷よ
拍子抜け～～～
ね～～…
展示物ばかりで
それらしいのは
なかったし…
そういや
天狗の面には
手を触れないで
ください
って――
あ～あれね
ギラ
ギラ
ギラ


あれを触ると――
床が抜けるとか？
それウケる～
まぁありえないよね
ギシ
ギシ
ギシ
ギシ
ギシ
……それがあるんだよな
しっ……！聞こえちゃう…
そろそろ見つけてもらった方がいいんじゃないの？
ドキ
え……
そ…それはその……
な～んてなわかってるって！
ブロン
まだほしいんだろ!?
あっ!!?
ぐりっ
!!!

ふあぁっ
んんっ
あぁああ
声抑えないとクラスメイトに気がつかれるぞ
あんた…こそ静かにし…
大きいのはお前の濡れた音だろ…
あ…んたが…中出…し…す…る…から……ぁ
つーかもうあいつらいないけどな
あ…やっ…あぁ…っ
ああン

いい眺め～
も…もう…
クラスメイトが近くにいて興奮してんだろ？
そんな…ことな…い……
否定したって俺はわかってんだから
お前がH大好きな女だって――
ねち…
わかってない…
ん？
ううん…っ
そうよだからいっぱい抱いてよね…！
むぐ
あ～あ…
お前が凛ちゃんだったらな～

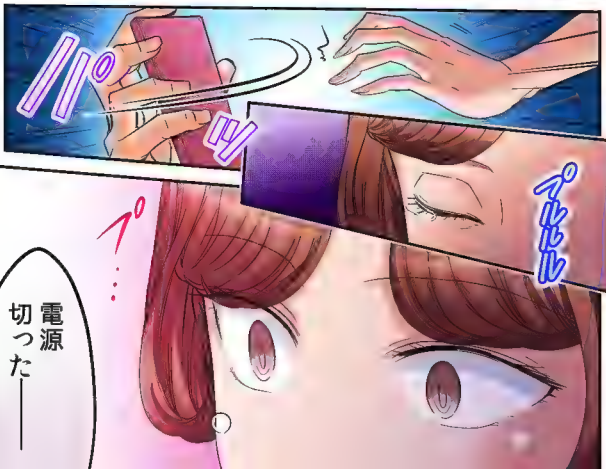
ぽろ
ぽろ
ぽろ
最低…っ
…あんた何も
わかってない…
嫌い…
大っ嫌い…
…私だってできることなら
凛になりたいよ――
でもセックスしか
結びつきがないから
こうしてるのに…
でも…
…でも…
そんなことも
わからない男のことが

好きなの……
……なんでなのか
わからないけど
好きなのよぉぉ……
プルルル
プルルル
プル
え…
えっと

プルルル
プルルル
え……
しまった…
圏外だって
嘘ついたん
だった――
ギラ
ギラ
ギラ
ギラッ
ギラッ
プルルル
プルルル
プルルル

どう？
ん～～～
呼び出し中
プルルル
プルルル
プルルル
凛――
足元から
何か聞こえ
ない？
…呼び出し音？
プルルル
プルルル
プルルル

…お願い…っ
凛を
選ばないで――
プルル
プルル
プルル
プルル
プルル
プルル
プルル
ガシッ


パッ
プルル
プ…
電源
切った――

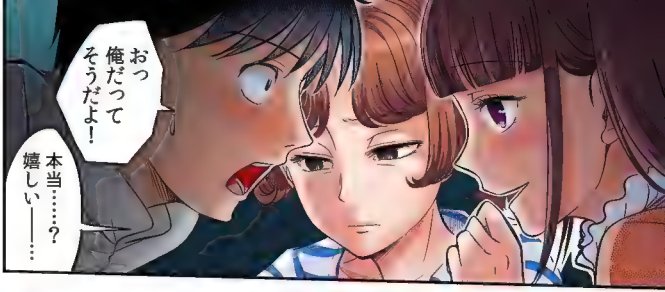
ん!!?
嬉しい――
ぬぷん
ぬぷん
ぬぷん
ぬぷん
……でも
わからない――
あ…
告白は
OKって
ことなの!!?
あんっ
イきそ……
うっっ…っ

ゴソ
……
あ…
あの……
なっ…
何…？
あ…うぅん
きゃあああああ
ん？
んんっ!!?
ズポッ
……
え？
え…
ええ～

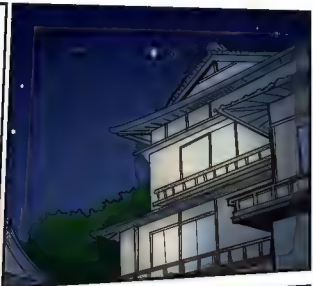
んがんがんが
んがんがんが～～～
たっ
高木くん??
い…息が
息がぁ～～
凛っ!!!
だっ大丈夫!?
なんだ
ここに
いたんだ～
電話してたんだよ
あ…
うん……

お――い!
理紗ちゃん
～～!
助け呼んでくる!!

うわ～
真っ暗…
早く
出たい～……
凛ちゃん
怪我して
ない？
うん
2人は？
大丈夫
ねぇ
2人で
何して
たの？
ドキ
ドキ
べ…
別に…
ドキ
ドキ
あ～えっと…
しゃべってた
かな～
そっそう…
暗いと
それくらい
しか……
いいな…
私も
おしゃべり
混ざりたかった
でも
高木くんが
いるなら……
いや…全然
楽しくないしっ


おっ
俺だって
そうだよ！
本当……？
嬉しい――……

蘭ちゃんとHで
始まって――
神社では
明日香と――



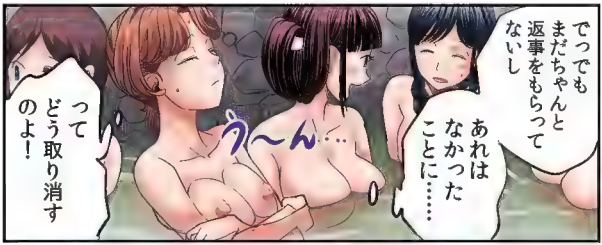
春菊の間

はぁぁ～～
疲れた……
今日…色々
あったもんな～
いや
昨晩からか…
ふぁぁ

そしたら凛ちゃんも落ちて来て――
嫌い…
大っ嫌い…
でも…
…でも…
好きなの……
……なんでなのかわからないけど
好きなのよおお……
ぐへへ～
あの柔らかいおま●この感触…!!
あ～凛ちゃんとHした……
……
…あれって告白ってやつだよな…?
…でも抱いてとか嫌いとか好きとか言ってることめちゃくちゃだったし――……
俺もついついセックス続行しちゃったし…

…だいたいあの明日香が俺のことなんて
うんそうだ！ドッキリってやつだ！
うん！
バレバレ
ネタくさいな
……でもしもし――
本気だったら答え出さないといけないのか……
凛ちゃんか明日香――……
あぁ～～どっちを選べっていうんだ～～？
ワイ
あれから結局高木から返事らしい返事なかったな……

みんなっ
ごめんなさい!!!
ペロ
あのボディジェル
調合を間違えた
不良品でした!!!
え…？
ザワ
ザワ
ザワ
その…あの……
人によっては
催淫作用——
いわゆる
エッチな気分に
なった人も
いるかも……
エッチな
気分——……
もう効果は
切れてる
みたいだし
ジェルの回収も
してもらった
から——
…じゃあ
私が天狗の鼻に
ムラムラ
したのも
高木との日を
抑えきれ
なかったのも
ましてや
告白までして
しまったのも
全部全部全部
あのジェルの
せい——!!!


でっでも
まだちゃんと
返事をもらって
ないし
あれは
なかった
ことに……
って
どう取り消す
のよ！
う～ん…

……それに
――……

だからこそ
告白の事を
凛に伝えなきゃ

今も高木を
思い浮かべただけで――
うん…この気持ちは
まやかしじゃない――
きゃ
…ゃん
明日香ちゃん！
えっ…
ああ…
この後
高木くんの部屋に
行ってみない？
ね…凛
その前に――

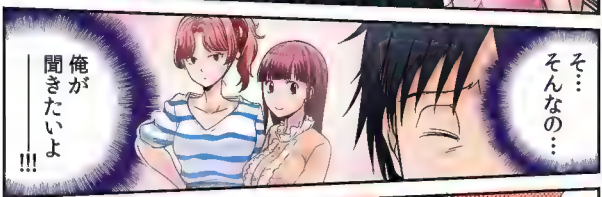
話しておきたいことがあるの――
大事な話……
大事な…？
もしかして卒業後の話!!？目標のサロン見つかった？
ざぱっ
え…えっと…
だったら高木くんの部屋で話そうよ！ねっ！
そうね…そうしたら高木から返事が聞けるかも…
スー
スー
春菊の間
ん♥
んんん…
ん

ん…？
っん♥
…あ
ぶぷっ
ぶぷっ
ぶぷっ
ぶぷっ
あ♥
あ♥
……誰か俺のを咥えてる？
んっ♥
♥
わかった明日香だ！
そうか！告白ドッキリのネタバレに来たのか！
それでフ●ラってやっぱりエロい女だな……明日香――
ぱぢ…
!!?
やっと起きたぁ～♥
ら…っ蘭ちゃん――!!?
ちゃっ
ちゃっ
ちゃっ
ちゃっ

なんでなんで
なんで――??
そんなの…
エッチが
気持ちよかった
からに決まってる
じゃない…
スル…
マっ
マジで!!?
さぁ続き
しましょ♥
挿れて♥
あ…いや…
嬉しいけど
嬉しいけどさ…
けど?
ビク
――もしかして
さっき呼んだ名前
明日香さんに
遠慮してるの?
ギク

——でも
ゴゴゴ
昨晩は私のこと凛って間違えてたよね？
それってつまりあなたは真壁明日香と佐瀬川凛
二股かけてるってこと？
そ…そんなの
いや…そんな……
じゃあどっちと付き合ってるの？
キョロ
キョロ
高木くんの部屋って春菊の間だったよね
俺が聞きたいよ——!!!
う〜ん…どこだろ……

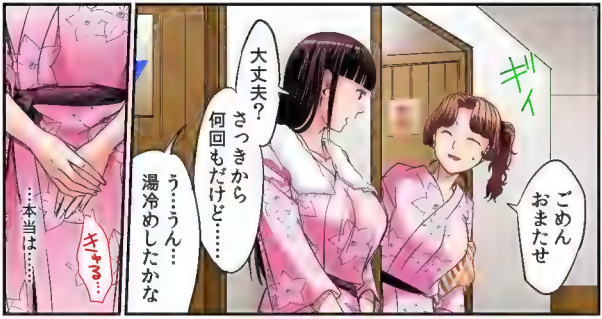
じゃあ
どっちと
付き合ってるの？
いや…
そんな
……
ぼよん

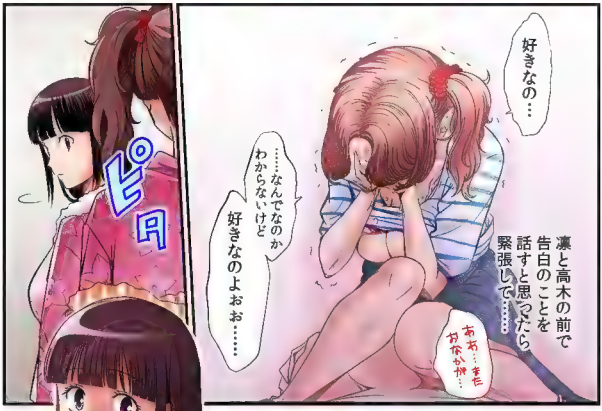

そ…
そんなの…
俺が
聞きたいよ
!!!

ねえ？
…まだ
どっち
とも……
ふ～ん
じゃあ私とは
遊び？
え？
遊びも
なにも
くろっ
？

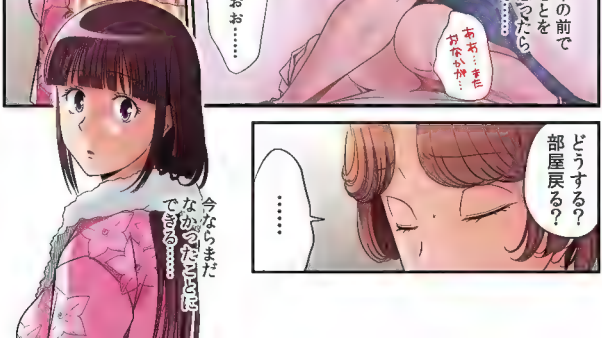
ぽた…
…ひどい……
え？
ひどい…
私の処女
奪っといて……
ぐすっ
そ…そうだけど
二回目からは
そっちから
迫ってきた
くせに～
でも
泣いちゃってるし…
機嫌を損ねて
退学は嫌だし…
もっもちろん
遊びじゃないよ！
本当!?
じゃぁ
しよっ♥
ドクッ
って私は
遊びでも本命でも
Hできれば
いいんだけどね
あ……
頬に
涙の跡が…

とろっ
ねぇ見て…蘭のここ……
スス…
とろ～
ゴソ
しろ…
ふふ……
こんなになっちゃってる……
スッ
Toilet

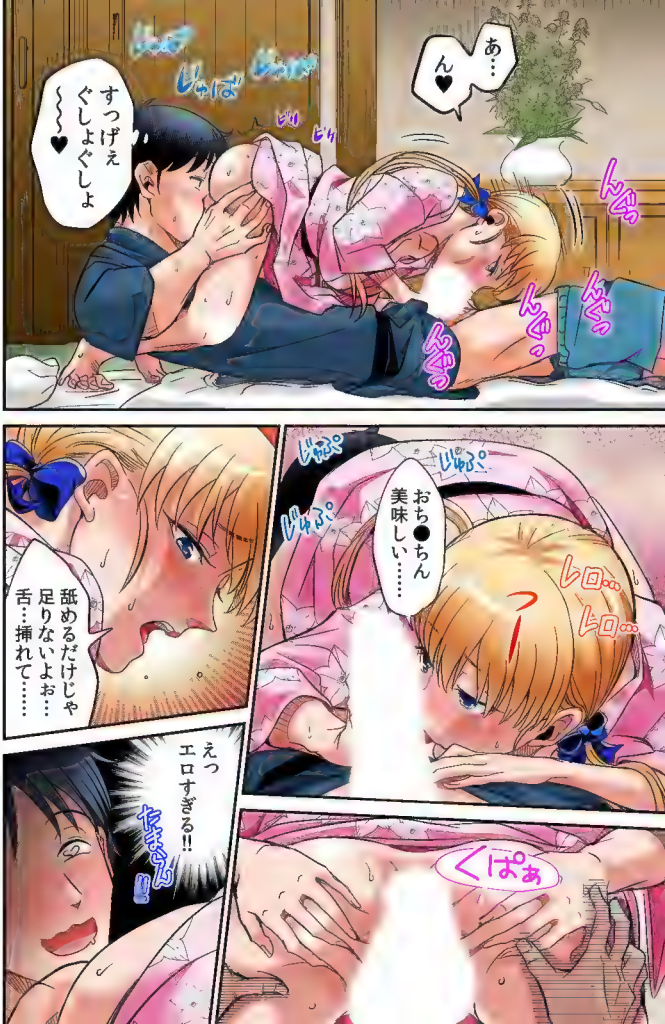

ごめん
おまたせ
ギィ
大丈夫？
さっきから
何回もだけど……
う…うん…
湯冷めしたかな
キャる…
…本当は…


好きなの…
凛と高木の前で
告白のことを
話すと思ったら
緊張して……
あわ…まだ
好きなのよぉぉ……
……なんでなのか
わからないけど
ピロ

どうする？
部屋戻る？
……

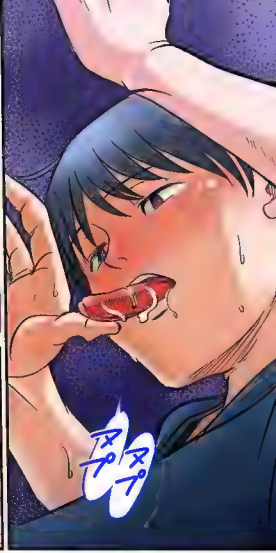

今ならまだ
なかったことに
できる……

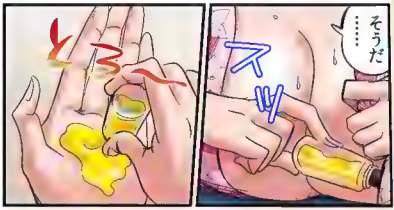
ガッ
うぅん
行く――
このまま気持ちをごまかし続けるなんてできない――
ペロ
ペロ
ペロ
んっ
んっ
んぐ
んぐ
んぐ
んぐ
……ん

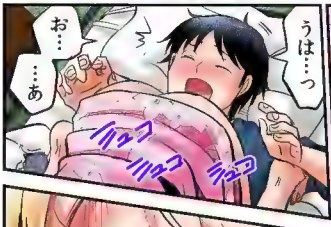

あ…
ん♥
すっげぇ
ぐしょぐしょ
〜〜〜♥
じゅぱ
じゅぱ
ビク
ビク
むぐっ
むぐっ
むぐっ
おち●ちん
美味しい……
じゅぷ
じゅぷ
じゅぷ
レロ…
レロ…
舐めるだけじゃ
足りないよぉ…
舌…挿れて……
えっ
エロすぎる!!
たまらん!!
くぱぁ

んあ…っっ
ぐちゅ
あ♥
き…もちいい……
ぷぴ
す…ごいい…
ぷる
あぁっ
あん
ぷぴ
ぷぴ
ぷぴ
関ちゃんのま●こキュウキュウ～
おかしく…なり…そ…
ひ…
あぁ

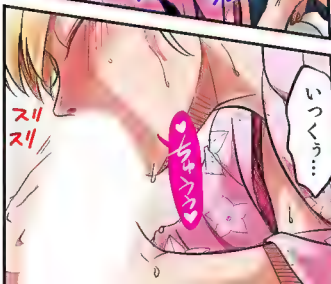
ああ…
…いい…
高木…くんのも
いっぱい
溢れてるね…
アソコ
ペペ
ペペ
ペペ


アプ
アプ

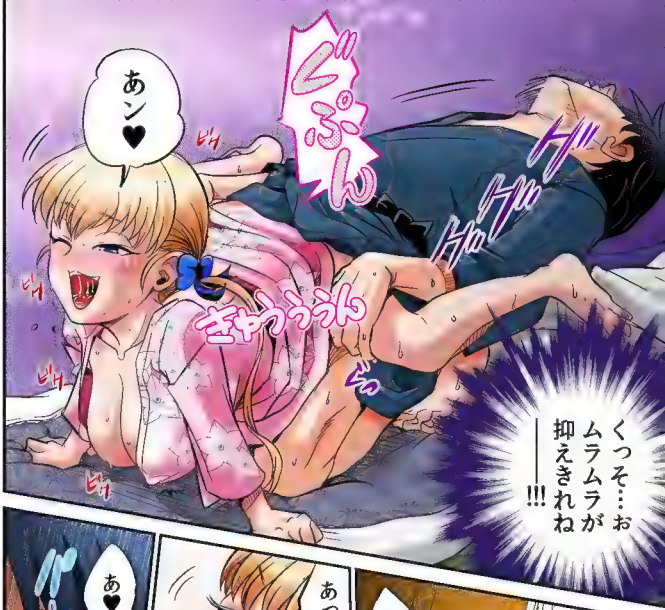

そうだ
……
スリ
とろ～


うは…っ
お…
…あ
ハァ
ハァ
ハァ

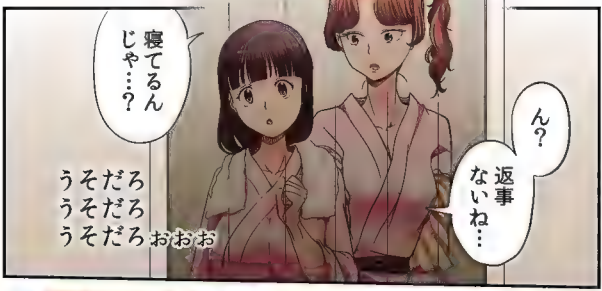
もっともっと
トロトロに
してあげる♥
あっお
ぐちゃん
ぐちゃん
ぐちゃん
ぐちゃん
ぐちゃん
ぐちゃん
ぐちゃん
ぐちゃん


いっくぅ…
スリ
スリ
ラブラブ♥

スク…
ぱあ
とろ～
ダぁメ
イくのはこっちで♥
つ…つい
流されてしまったけど
いいのか…？
このまま蘭ちゃんに
挿入してしまって……
だって俺には――
…くっ…

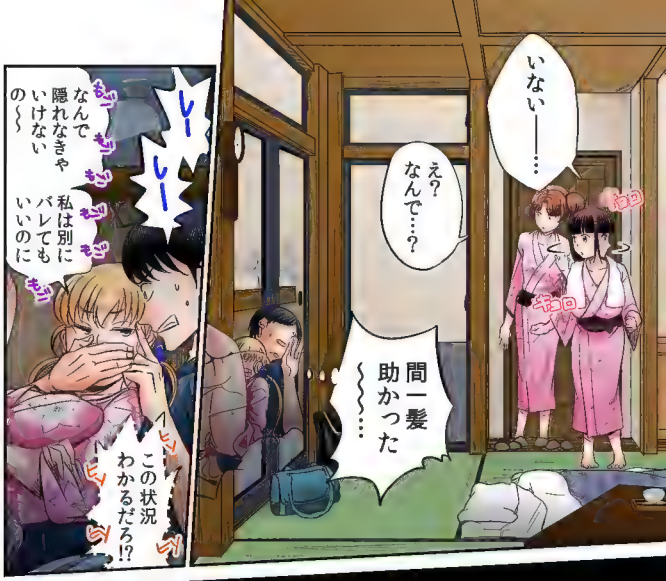

くっそ…おムラムラが抑えきれねぇ!!!
ビぷん
あン♥
ビ
ビ
ビ

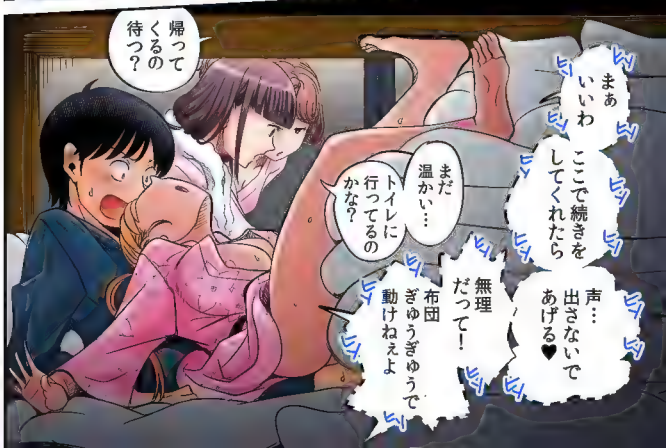
い…
いい…
んっ…ぁ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
…んっ
あぁ♥
あ♥
あ♥
あっ♥
あぁぁン
あっ♥
パン
パン
パン
コンコン
え…!?
高木くん――
凛です
私も一緒
入っていい？


ん？
返事ないね…
寝てるんじゃ…？
ろろろ
だだだ
そそそ
ううう
おおお

どうしよ…
入ってみる？
高木くん
開けるね……
ガラ
あぁ…もうおしまいだ――
お願いだから引き返してくれ～～!!!
ビビ
ビビ
ビビ
ビビ
ビビ
ビビ
ビビ

あれ？凛ちゃん？
理紗ちゃん！
この部屋…？
高木くんとこ――
理紗ちゃんもどう？
ごめんなさい…
バイバーイ
無事見つかるといいね
ぺこ
くるっ
あれ？
回収したジェルが足りないとかで先生に呼ばれてるの
そうなんだ…
よし!! 今のうちに！
ひょい
スクッ
ズリ
バサ
バッ
ガバッ


いない――…
え？なんで…？
間一髪助かった～～～…
ガラ
ピタ
レーレー
もごもごもごもごもご
なんで隠れなきゃいけないの～～
私は別にバレてもいいのに
ヒソヒソヒソヒソヒソ
この状況わかるだろ!?

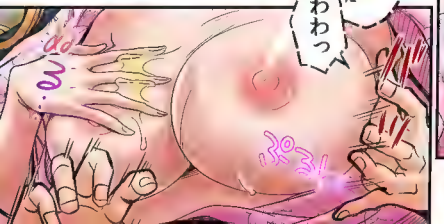

まぁいいわ
ここで続きをしてくれたら
声…出さないであげる♥
無理だって！
布団ぎゅうぎゅうで動けねぇよ
まだ温かい…トイレに行ってるのかな？
帰ってくるの待つ？

え～～
ギチ…
ギチ…
…俺だって生殺しなんだよ
わかってくれよぉ
じゃあ…
私の気持ちいいとこ触って――
うっわ…可愛い――
声出すなよ
ちゅ
んんっ
ぷるん

んんっっ
んんん…
ん？
つんっ
ビクッ
そして…
見て！
お庭～～♥
高木には
贅沢な部屋
よね～
それにしても
高木くん…
遅いね……
お風呂かな？
どうする？
聞こえてくる
2人の声が
スリルを
掻き立てる…！
やっぱり
だ！
ちゅぱちゅぱ
ビクン
ビクン
ビクン
ふぁ…
んっ
つんっ
つんっ
きゃっ
きゃっ
刺激を
与えるたびに
蘭ちゃんのが
締まるぅっっ
腰を振ってないのに
気持ちよすぎぃ～～

ものすごく大きくなってるね…
う…うん…
ぴちゃ…
ぎちぎち…
本当はあなた…あの2人じゃなくて私のことが好きなのよ
ん♥
は!!?

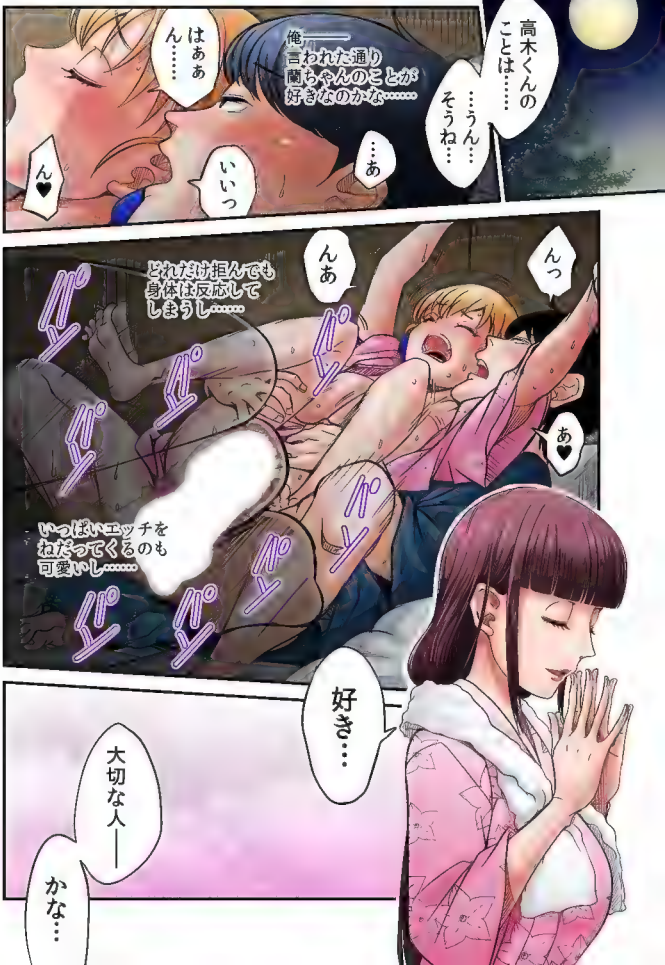
ふ〜ん
もみもみ
もみもみ
くちゅ…


その両手でそんなこと言ってもねぇ
わわっ
ぷるん

いっ…いや…これはシチュエーションに興奮して……!!!
だいたい迫ってきたのは君だろ!?
私——今回は命令してないもん
じゃあ帰ろうかー

ニヤリ
今日の実習で使ったジェル小瓶に移してきて正解ね…
これ……どうしてかわからないけどエッチな気分になるのよね～～
さあどうする？
それより――あの2人――待ちくたびれて帰ったわよ
私はこのまま…このまま…押し入れでしたいなぁ♥

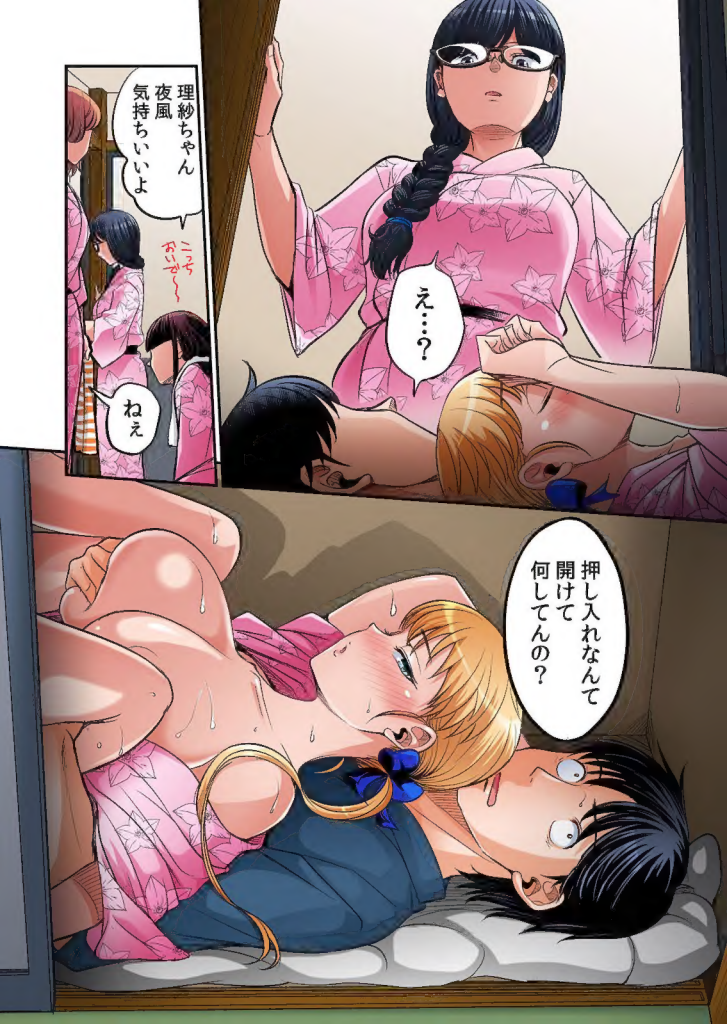
ギシ
あん♥
ギシ
ん♥
ギシ
ギシ
夜の庭も風情があっていいなぁって
帰るんじゃなかったの？
ねぇ明日香ちゃん
待ちきれないから先に話聞かせてよ
え…っ!?
何か話があるって言ってたでしょ
あ…あれね…
ん……
えっと…
あ…あのさ…
高木のことどう思ってる……？
え…？


高木くんのことは……
…うん…そうね…
…あ
俺――――言われた通り蘭ちゃんのことが好きなのかな……
いいっ
はぁぁん……
ん♥
んっ
んぁ
どれだけ拒んでも身体は反応してしまうし……
あ♥
いっぱいエッチをねだってくるのも可愛いし……
好き…
大切な人――
かな…

…それに
蘭ちゃんは
早乙女グループの
お嬢様――
あの2人より
蘭ちゃんと
付き合った方が――
ふあ…
気…持ち
…いい…
やだ～
今更そんな質問
するなんて
少女マンガだったら
明日香ちゃんも
高木くんのことを
好きって流れ
だよ～
ピク
ね！
明日香ちゃん
――…
明日…香…
え……？

ごっごめん
変なこと
聞いちゃって
やっぱり
言えない
――私も
高木のことが
好きだなんて
まっ…まぁ
…私も友達としては
嫌いじゃないわ
うん……
あっ
あぁ♥
いくぅう
あぁっ
イ…き
そ…
お邪魔
します……
ガラガラ
高木くん
凛ちゃん～
春菊の間

んんっっ
ビィィ
ビィィ
く…ぅ…
ビィィ
ビィィ
ビィィ
あンンンンン…
ぐぐぐ
どくん
あ～～
理紗ちゃん！
なんだ
そこにいたん…
…あ…
先生の用事
終わったの？
押し入れから
音……？
ん？
ガラ


え…？
理紗ちゃん
夜風
気持ちいいよ
こっちおいで～～
ねぇ
押し入れなんて
開けて
何してんの？

セックスしよ？

気持ち

～作品紹介～

他の男の肉棒でイカされて…

ネトラレ社員旅行
～上司の彼女に極太チ●コで何度も中●ししてやったw

著：シキオウジ

恥辱、凌辱、調教責めまくり!

著者：あまね紫狼

©2020 あまね紫狼

発行所：ＳＴＤパブリッシング

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。

本作品の無断複写・複製・転写を禁じます。